

## インタラクティブ大学院教育プログラム

高分子集合体科学研究室 M1 田中 敦史

研究会名：エコマテリアル研究会

場所：東京大学山上会館 大会議室

期間：平成19年3月16日

東京大学山上会館において平成19年3月16日に開催されたエコマテリアル研究会にインタラクティブ大学院教育プログラムを利用して参加させていただきました。今回は、普段の研究から一歩離れ、「企業における研究」というものについて、その特色を垣間見ることが目的として参加させていただきました。

本研究会の主題は「バイオマスプラの最前線」ということで、再生産可能な植物由来原料からつくるバイオベースポリマーについて、企業における原料、素材、加工の研究成果、及び大型スーパーにおけるバイオマスプラを使用する取り組みや、バイオマスプラ識別表示制度についても紹介していただきました。

発表者、参加者の中で、明らかに学生は私だけであり、私自身の研究とも、縁もゆかりもない研究内容であったため、かなりの場違い感を抱きながらの参加となりました。しかしながら、実際に発表を聞いてみると、縁もゆかりもない内容が逆に新鮮であり、また、企業の方の発表ということで、質疑応答の際には、「コストの面でどうなのか」、「作ったポリマーから変な匂いはしないのか」といった、普段私達が研究室で行うセミナーでは出ることのない質問も多く飛び交い、興味深く聴くことが出来ました。

今回、企業の方の研究会に参加させていただき、「研究職として企業に就職する者にとって、就職してからが研究者としての勝負の始まりであり、勝負できるだけの土台を作るために、大学院での研究に厳しく取り組んでいかなければならない」ということを再認識し、これから先長く続いていくであろう研究生活に対して身が引き締まる思いでした。

また、同じ国内で少し大袈裟かもしれませんが、大都会東京の建物や人々の様子に普段住み慣れた大阪とは違う雰囲気を感じ、研究室と下宿先を往復するだけの日々の生活では忘れがちな広い世界を感じるいい機会でもありました。

最後になりましたが、このような機会を与えていただいた方々、インタラクティブプログラムに感謝いたします。